

「4次元サイバーシティの活用に向けたタスクフォース」開催要綱（案）

1 目的

「4次元サイバーシティの活用に向けたタスクフォース」（以下「タスクフォース」という。）は、「宇宙利用の将来像に関する懇話会」（以下「懇話会」という。）のタスクフォースとして、懇話会における検討内容のうち、現代社会が抱える社会的問題の解決に向け、宇宙データの利用方法、その実現のために必要な研究及び開発の在り方や研究機関の役割について、より専門的な観点から検討を行うことを目的とする。

2 名称

4次元サイバーシティ[※]の活用に向けたタスクフォース

※ 測位データや衛星データによる3次元空間の把握と、AI解析による時間的変化の自動抽出により、4次元（3次元＋時間差分）的に様々な情報の把握を可能とするもの。

3 構成員等

（構成員）

中須賀真一（東京大学大学院教授）、岩崎晃（東京大学大学院教授）、
齋藤尚子（千葉大学助教）、黒田有彩（株式会社アンタレス・宇宙タレント）等

（オブザーバ）

内閣府（宇宙開発戦略推進事務局）、内閣府政策統括官（防災担当）付、文部科学省、
経済産業省、気象庁、株式会社NTTデータ経営研究所

4 運営

- (1) タスクフォースの主査は、懇話会の座長が指名する。
- (2) 主査は、必要があると認めるときは、主査代理を指名することができる。
- (3) 主査は、必要に応じて構成員以外の関係者の出席を求め、その意見を聴くことができる。
- (4) 主査は、タスクフォースを招集し、主宰する。
- (5) 主査代理は、主査を補佐し、主査不在のときは主査に代わってタスクフォースを招集し、主宰する。
- (6) タスクフォースにおいて検討された事項については、主査がとりまとめ、これを懇話会に報告する。
- (7) その他タスクフォースの運営に必要な事項は、主査が定めるところによる。

5 議事等の公開

- (1) タスクフォース及びそこで使用した資料については、次の場合を除き公開する。
- ① 公開することにより当事者及び第三者の権利若しくは利益又は公共の利益を害するおそれがあると主査が認める場合
 - ② その他非公開とすることが必要と主査が認める場合
- (2) タスクフォース終了後、議事要旨を作成し、公開する。

6 スケジュール

タスクフォースの開催期間は、平成30年1月から同年夏頃までを目途とする。

7 事務局

タスクフォースの事務局は、国際戦略局宇宙通信政策課が行うものとする。

また、平成30年3月30日（金）までの間は、株式会社NTTデータ経営研究所が支援することとする。